

ヨハネによる福音書 10章 11～18節

狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる。

——狼は羊を奪い、また追い散らす。——

彼は雇い人で、羊のことを心にかけていないからである。

わたしは良い羊飼いである。わたしは自分の羊を知っており、
羊もわたしを知っている。

それは、父がわたしを知っておられ、

わたしが父を知っているのと同じである。

わたしは羊のために命を捨てる。

わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。

その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。

こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。

わたしは命を、再び受けるために、捨てる。

それゆえ、父はわたしを愛してくださる。

だれもわたしから命を奪い取ることはできない。

わたしは自分でそれを捨てる。わたしは命を捨てることもでき、

それを再び受けることもできる。

これは、わたしが父から受けた掟である。」